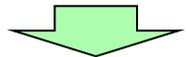


鶴岡市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年7月～25年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 藤沢周平の小説・映画で知られる、歴史的・文化的資源が残る旧城下町
- 市立病院の中心市街地内での建替え、東北公益文科大学大学院等の立地、シビックコア計画の推進等、コンパクトなまちづくりは進みつつある
- 大型の郊外宅地開発、郊外大型店の立地、中心市街地内の大型店撤退(H17,19)

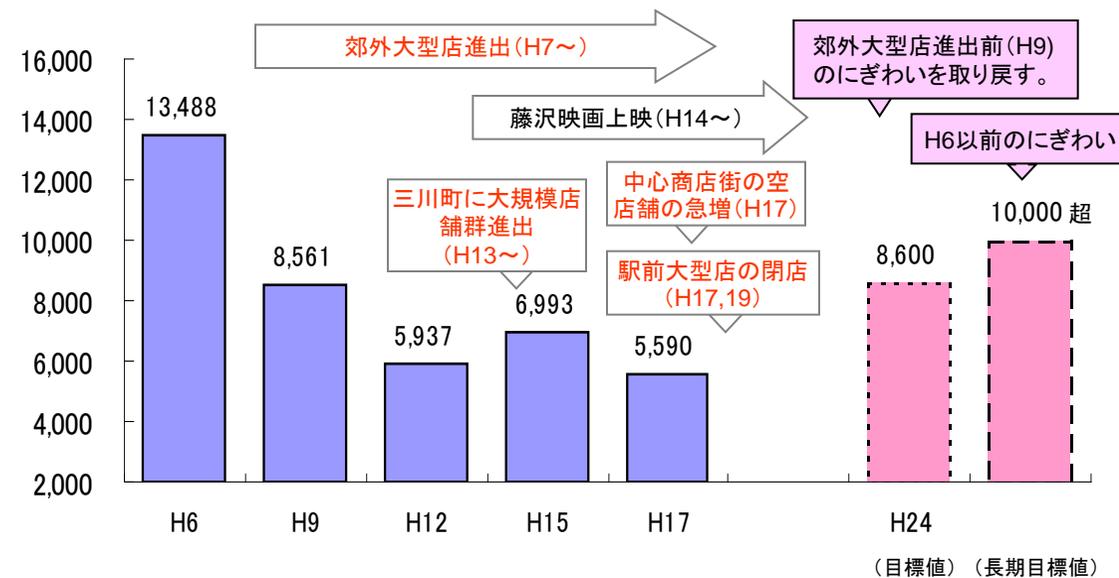


- 歩行者通行量(休日)
 - H6: 13,488人 → H17: 5,590人 (△59%)
- 空き店舗数
 - H13: 40件 → H19: 56件
- 小売販売額
 - H6: 432億円 → H14: 255億円 (△41%)
- 居住人口
 - H9: 8,211人 → H18: 7,128人 (△13%)
- 観光施設入込客数
 - H10: 141,600人 → H18: 157,100(+11%)

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H24)
交流の拡大	観光施設年間入込客数	157,100人(H18)	212,100人
中心商店街の活性化	歩行者自転車通行量(休日)	5,590人(H17)	8,600人
	空き店舗数	56店舗(H19)	48店舗
まちなか居住の環境づくり	健康・子育て・福祉施設の利用者数	77,002人(H18)	108,900人

(歩行者・自転車通行量の動向と数値目標)



旧城下町としての趣を活かしつつ、空地・空店舗を商業・賑わい施設や集合住宅・福祉施設として再生、観光施設の整備等により、賑わいのある中心市街地を形成する。

鶴岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

交流の拡大

【大規模店舗跡地活用】

○駅前閉店した大規模店舗を活用し、駅北側の工業団地企業や中心市街地の企業・商業者との交流の場となる**産業振興センター**や子育て世代の交流の場となる**子育て支援施設**を整備



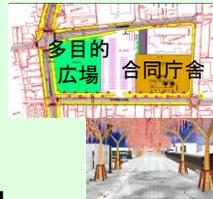
【藤沢周平記念館】



○城址公園内に本市出身者である**作家藤沢周平の記念館**を整備

【シビックコア】

○合同庁舎整備に併せて、**駐車場や多目的広場、城址公園と商店街を結ぶ桜並木**を整備



【大学における市民講座等】

○公開講座、市民ギャラリー等を今後も拡大

まちなか居住の環境づくり

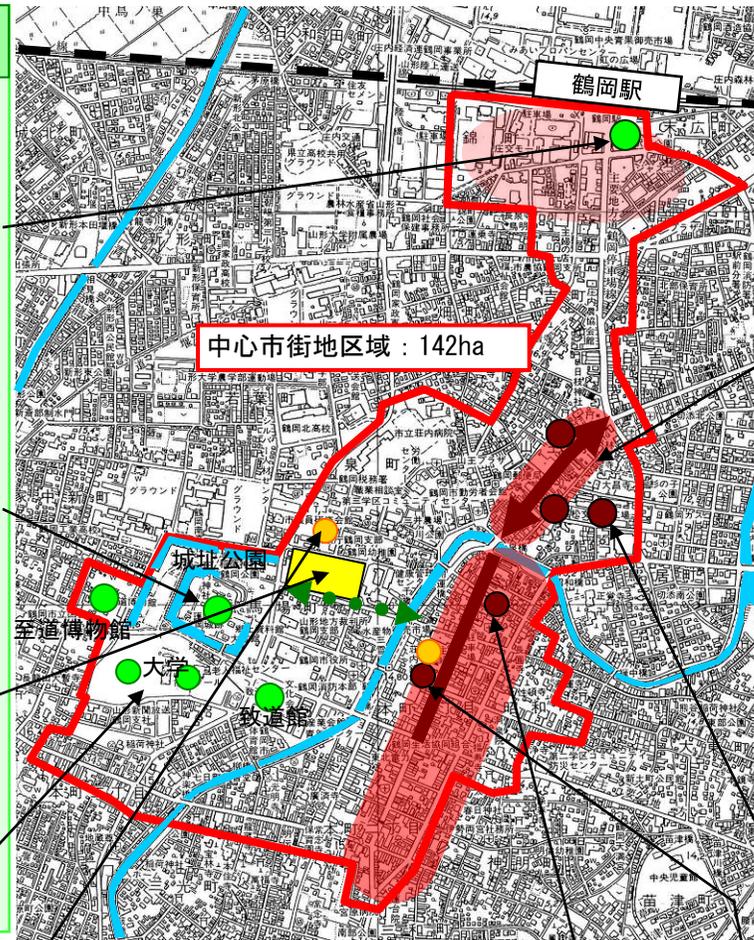
【総合保健福祉センター】

○大規模空地を活用し、**保健センター、子ども家庭支援、福祉、医療等の総合センター**を整備
市街地ウォーキング等の**健康イベント**を実施予定



【地域包括支援センター】

○空店舗を活用した高齢者交流センターに加え、**介護予防や健康増進を本格実施**



中心商店街の活性化

【山王商店街の再生】



○空地・空店舗を活用し敷地整序した上に**貸しテナント、共同駐車場、共同店舗等**を整備

伝統工芸、地場産業、食鮮市等や市内の不足業種を補う**テナントミックス事業**を実施

○まちづくり協定に基づく個店改修により、**良好な景観形成、憩いの空間づくり等**を実施

○通りの段差解消、無電柱化等による**歩行者空間の整備**

○**山王ナイトバザール**: 名産品の直売、有志によるフリーマーケット、スタンプラリーやゲーム、歩行者天国等を実施



【松文産業工場跡地活用】

○跡地10,000㎡を活用し、映画館、撮影スタジオ、貸しスタジオを有する**まちなか映画館**を整備



【旧エビヤ薬局施設活用】

○空店舗(昭和初期建築357㎡)を活用し、**伝統工芸体験、展示ギャラリー、インフォメーション機能**を整備
現存する**まちなか拠点との一体的なイベント**を実施



【コーポティブ住宅・銀座リビング】

○住民と設計者等が計画段階から協議し設計・建設・運営する**シニア向け生活支援サービス付コーポティブ住宅**の整備

地域サロン、蔵座敷等を併設し、来街者、地域住民に向けた**イベント・講座**を実施

